



いどおり

豊田南小学校 学校だより
令和6年度 第8号
令和7年1月7日
文責 教頭 (小澤)

【3学期始業式 校長先生の話】

ポプラっ子のみなさん、令和7年が始まりました。2025年のスタートです。校長先生は今朝、新しい年になって初めてポプラっ子に会いました。昇降口の前で立って、いつも通りに挨拶をしていると、何人かの子が「校長先生、今年もよろしくお祈いします。」と、とってもさわやかな笑顔であいさつをしてくれました。



今日から始まる3学期は全部で49日間しかありません。1学期や2学期と比べてうんと短いです。そして3学期はこの1年間の勉強のまとめをするのと同時に、来年度の準備をする時期でもあります。1年生は4月に入学してくる新しい1年生のお手本になれるように3学期の生活をがんばっていきましょう。そして、6年生は3学期が終わると中学生になります。南小での一日一日

が、当たり前ではない、かけがえのないものを感じられることでしょう。小学校生活のまとめをすると同時に、中学生になるための準備をしっかり進めて、3月の卒業式を迎えましょう。



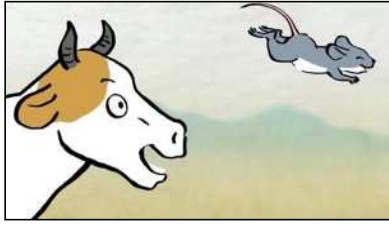
4月になると、学年がそれぞれ一つ上がります。その意味で、この3学期を、次の学年の始まり、「0学期」と捉えると、ちょっと意識が変わります。少し背伸びをして、どの学年も4月からの新しい学年に向けてがんばっていきましょう。

さて今年はへび年。「巳年」って言いますね。去年は辰年でした。これらを干支と言います。全部で干支は12あって、1年ごと順番に変わっていきます。ではどうしてこの順番になったのか今からお話ししたいと思います。



昔々、ある年の暮れに神様が動物達にお触れを出しました。そのお触れとは、正月の朝に御殿に来るよにということ。そして、来た者から順番に12番までを1年ずつその年の王様にするということです。

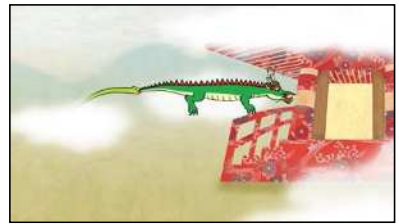
動物達は、それを聞いて自分こそはこのレースで1番になると騒ぎ始めました。



牛は、自分は動きが鈍いことをわかっているので正月の前の晩から御殿まで出発し始めます。そして、姑息なねずみはこそっと牛の背中に飛び乗って、すやすやと眠りながら朝を待ちます。

やがて朝になると、御殿の門が重々しく開きました。牛は前の晩から出発したので、そのころには門の前で待っていました。ところが、ねずみが牛の背中から飛び降りると、ちゃっかり1番乗りを果たします。そして、ねずみが1番乗りだったので牛は2番になってしまいます。

足の速さが自慢の虎は、さっそうと御殿までたどり着きますが、それでも前の晩から出発していたねずみや牛には敵いません。虎の次には、同じく足の速いうさぎも御殿に到着しますが、自慢の足にかまけて油断してしまい、1番にはなれませんでした。その後、龍が5番に龍の尻尾につかまった蛇が6番、道草をしていた馬が7番、羊が8番、けんかをしていた猿と犬、そして止めに入った鶏がそれぞれ9番から11番。猪はとっくに御殿まで来ていたのですが御殿を通り過ぎてしまい12番になってしまいました。



こうして、「ね・うし・とら・う・たつ・み・うま・ひつじ・さる・とり・いぬ・い」の順番で干支が決められました。・・・どうです。わかりましたか。

でもよくみるとこの中に、干支になっていない動物がいますね。そう。ねこです。

そこでクイズです。この物語には、ねずみの天敵であるねこが出てきません。

どうしてでしょうか。

- ① ねこはよく寝るので、レースの日に寝坊したから
- ② ねこは悪さをするので、神様が怒ってレースに参加させなかったから
- ③ ねこをきらいなねずみが、レースは次の日だと言ったから

正解は・・・校長室前に貼っておきます。



3学期は、校長先生がいつもみなさんにお話している「みんなが笑顔で楽しく幸せな学校」豊田南笑楽幸を実現するため、特に意識して使ってほしい言葉があります。それは「ありがとう」です。感謝の気持ちを相手に伝えると、お互い嬉しくなります。言った方も、言われた方もなるんです。そして嬉しくなると人は自然と笑顔になります。笑顔は人と人をつなぐ役割があり、心がやさしくなります。

ぜひ笑顔あふれる豊田南小学校にしていきましょう。



【お知らせ】

学校の様子は、ホームページ(<https://toyodaminami-e.city-iwata.ed.jp>)でも紹介しています。